



窒素バランス測定のすすめ♪♪

今回は動的栄養指標の一つである**窒素バランス**について紹介したいと思います。窒素バランスとは窒素摂取量と窒素排泄量の差から生体内での窒素(タンパク質)代謝動態を把握することが可能な優れた栄養評価法です。

栄養管理を行ううえで、**設定した投与カロリー量やタンパク質量が消費量に対して妥当であるかどうか判断に迷う時**に測定をおすすめします。

★測定方法★



窒素バランス

= 総窒素摂取量 - 尿中総窒素排泄量

= 投与タンパク質量(g)/6.25 - 尿中尿素窒素排泄量(g/日) × 4/5

★★判定方法★★

健常成人で通常の食事を摂取している場合はほぼ±0(投与した総窒素量と排泄された総窒素量が同じ)に維持されている。

負の場合: 体タンパク代謝が分解(異化)優位に傾いており、何らかの有効な栄養療法を必要とする。 病態や損傷による体タンパクの消耗、タンパク質やエネルギーの摂取不足などの場合は負の窒素バランスを示す。

正の場合: 体タンパク合成(同化)優位な状態で、栄養療法が有効に行われている。 重症患者の回復期や成長期の小児、妊婦の場合は正の窒素バランスを示す。

※測定上の注意点※

- ・一日蓄尿で検査する必要があります。
- ・正確なタンパク質摂取量がわからない場合は困難な時もあります。



第8回NST研修会報告 2014.1.8(水) 17:30~18:30 3階講堂

テーマ：胃ろうの管理とケア

胃ろうの観察で毎日実施してほしいこと

- ①カテーテルの回転、外部ストッパーのずらし
- ②なるべく垂直固定を！
- ③ストッパーの閉めすぎに注意！
(1~2cmの余裕をもたせる)
- ④ろう孔部は清潔に保つ！

胃ろうの三大トラブル

嘔吐(胃食道逆流)
下痢
栄養剤のリーク(もれ)



それぞれに適した正しい
対処方法でケアをする

お知らせ

第9回 院内NST研修会

【口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーション】

2月5日(水) 17:30~18:30 3階講堂

第10回 院内NST研修会【静脈栄養管理】

3月5日(水) 17:30~18:30 3階講堂



ワニバッチ

- ◆ NST勉強会 10回、NST研究会 2回 計12回のうち、10回以上参加された方には、NSTメンバーとして、NSTバッチを差し上げます♪
- ◆ 対象者の方には第10回院内NST勉強会後にNSTバッチを配布致しますので、3月5日のNST勉強会に参加表(カード)をお持ちの上、必ずご参加下さい。

第13回 岐阜南NST研究会

特別講演 『がんと高齢者の終末期栄養管理』

講師:大阪府済生会中津病院 肝胆臓外科部長

近畿大学医学部 外科客員准教授

土師誠二 先生

3月27日(木) 18:30~20:00 3階講堂

どの職種でも参加可能です。栄養に興味のある方ならどなたでもご参加下さい！